

1 申請者の情報		申請年月日	R6年 9月 30日
フリガナ	カシダサンフジンカクリニック	住所・所在地	〒753-0043
医療機関の名称	かしだ産婦人科クリニック		山口市宮島町11-2

2 病床削減の概要(予定含む)

<許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計※2
1	①平成30年度病床機能報告における許可病床数		19				19	19
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその許可病床数 ※1						0	0

※1 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は「1②」は記載不要(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

<稼働病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
2	①平成30年度病床機能報告における稼働病床数		19				19	19
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその稼働病床数 ※3						0	0

※3 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「2②」は記載不要

(令和2年4月1日時点での変更は除く)

<病床削減後の許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
3	病床削減後の許可病床数		14				14	14

<他の医療機関との病床融通>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
4	他の医療機関との病床融通数 ※4					0

※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の病院等へ病床が移転しようとする場合に記載すること。

また、「(参考)病床移転にかかる概要」に関連する病院等の病床数を記載すること。

<対象3区分から回復期又は介護医療院へ転換した病床数>

		回復期	介護医療院	合計
5	削減病床のうち、回復期又は介護医療院へ転換した病床数			0

<年間在棟患者延べ数(人)>

		高度急性期	急性期	慢性期	合計
6	①平成30年度病床機能報告における対象3区分の病棟の年間在棟患者延べ数(人) ※5		5,502		5,502
	②令和2年4月1日時点年間在棟患者延べ数(人) ※6・7				0

※5 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)×12÷報告可能な対象期間(月単位)

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成29年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

※6 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「6②」は記載不要

(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※7 令和元年度病床機能報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は令和元年度病床機能報告の数値を計上すること。

変更がある場合は、変更後令和2年4月1日までの在棟患者延べ数を※5を参考に算定して計上すること。

3 病棟別内訳(予定含む)

【変更前の状況(R2.4.1まで)】

変更前	病棟別内訳 (病床機能報告から転記)	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	稼働病床数
		①	有床診療所入院基本料1	急性期	19床	19床
		②				
		③				
	計				19床	19床

※ 平成30年度の病床機能報告を転記することを原則とするが、平成30年度の報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数等に変更がある場合は変更後の病床数等を記載すること。



【令和7年度】

【R7年度】						
R6 年度	病棟別内訳	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
		①	有床診療所入院基本料1	急性期	14床	R7年5月
		②				年 月
		③				年 月
計					14床	



【令和8年度以降】(変更がない場合や計画が未定の場合は、「以後変更なし」「未定」等と記載のこと)

R8年度以降の年度に発生した変更がある場合、許可が決定の時点では、変更予定の年度に決定して記載すること						
		病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
R8 年度	病棟別内訳	①	以後変更なし			年 月
		②				年 月
		③				年 月
	計					床

※病棟別内訳の数が不足する場合は適宜追加すること。
※計画完了時には「休棟等」がすべて削除され、存在しない状態となっていること。

病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料

対象医療機関名 かしだ産婦人科クリニック

1 地域の状況		
地域の現状と課題		山口地区の出生数は年々減少傾向であり、他医院含め分娩件数が今後更に減少していくことが考えられる。
2 自施設の状況		
自施設の現状 (変更前)		分娩件数減少により病床利用率が低下している。 スタッフ数も確保・定着が難しく減少しており、看護度や患者サービスの低下が懸念される。 軽症のコロナ感染妊婦を自院で管理するために、隔離病室の確保、感染予防のためのレイアウトの見直しの必要が出てきた。
病床数の見直し	見直しの考え方	大部屋①の病床数を6→4床に減らし、患者のパーソナルスペース拡大による居住性の向上、さらにベッド間隔を1m以上は進事は感染対策にもつながると思われる。 大部屋②の病床数を6→3床に減らし、半室をマタニティクラス等の指導スペースに使用し、患者サービスの充実に図る。
	対象の病棟・病床の概要	届け出 有床診療所入院基本料1 妊婦
	入院患者への対応	入院患者さんへの影響はない。
3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由		
理由		今後も出生数減少による病床利用率のさらなる低下が予測され、感染症対策および患者サービスの面からも、適正な急性期病床規模への変更は地域医療構想の実現に資するものとする。

【参考】対象区分別の削減(計画)病床数

対象区分	R6	変更時期	R7	変更時期	R8	変更時期	計
高度急性期							
急性期			△ 5	R7.5月			△ 5
慢性期							
合 計			△ 5				△ 5

※複数年度に渡る削減を予定している場合は各年度に削減(計画)病床数を記載

【参考：R5病床機能報告(山口・防府保健医療圏の状況)】

病 床 区 分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 廃止予定	介護保険施設 移行予定	合計
報告	①R5 (2023)現状	499	1,281	642	856	115		3,393
	②R7 (2025)予定	506	1,140	776	838	19		3,279
構想	③R7 (2025)必要数	275	974	899	860			3,008
④構想との差(R5) (①-③)		224	307	△ 257	△ 4			270
⑤構想との差(R7) (②-③)		231	166	△ 123	△ 22			252